

ダイハツ、「車両塗装ブースの省エネ」で省エネルギーセンター会長賞を受賞 ～塗装ブースにおけるエネルギー使用量を従来比44%削減～

ダイハツ工業株式会社（以下、ダイハツ）は、2022年度 省エネ大賞 省エネ事例部門において、『車両塗装ブースの省エネ』が「省エネルギーセンター会長賞」を受賞しました。

「省エネ大賞」は、省エネルギー意識、活動および取り組みの浸透、省エネルギー製品等の普及促進に寄与することを目的とし、2011年より一般財団法人省エネルギーセンターが主催しています。なお、表彰式は2023年2月1日（水）に東京ビッグサイトにて行われます。

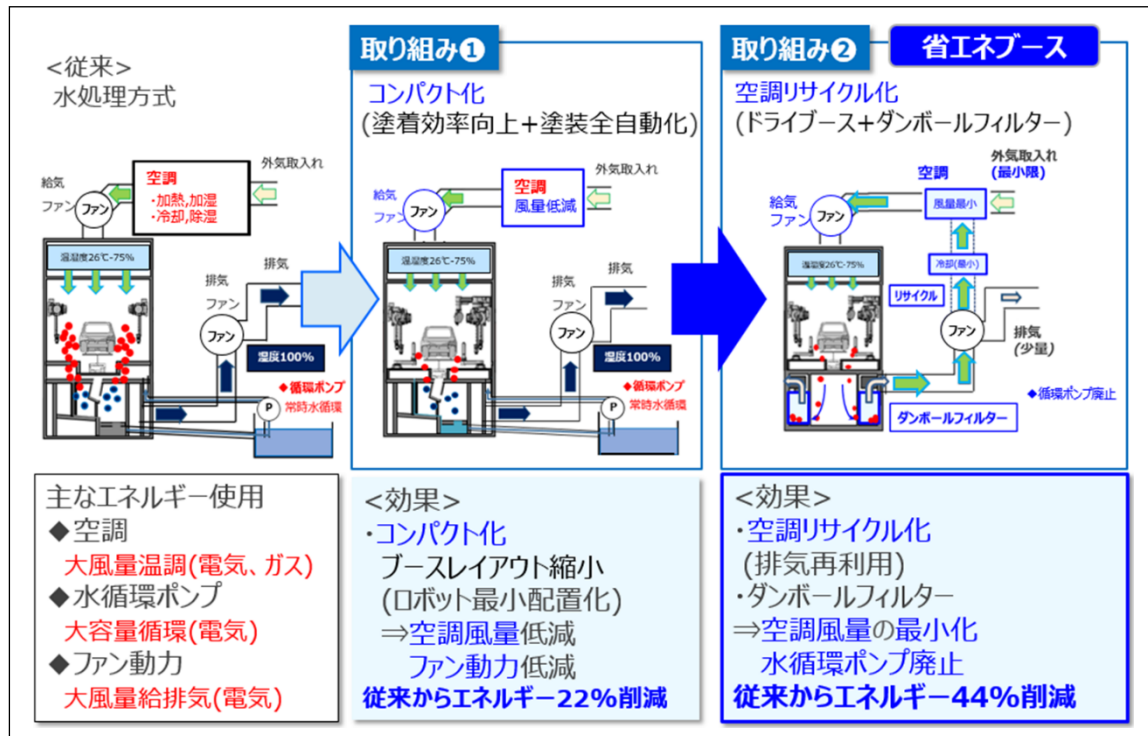
■テーマ

車両塗装ブースの省エネ

■概要

本テーマは、京都（大山崎）工場の中上塗り塗装ブースにおける省エネの取り組みです。塗装工程は工場全体のエネルギー使用量の約65%を占め、その中でも最も多くのエネルギーを使用している塗装ブースの省エネが工場カーボンニュートラル達成に向けた最大の課題になっています。同工場のリファインに伴い、超高塗着塗装機の導入や塗装全自動化による塗装ブースのコンパクト化及びドライブースやダンボールフィルター方式の導入による空調リサイクル化を実施しました。その結果、塗装ブースにおいて従来比で44%（1,450kL/年）のエネルギー削減を達成することができました。

【イメージ図】



ダイハツは、今後も徹底した省エネ化の推進を通じ、2035年工場カーボンニュートラルの実現に向け取り組んでまいります。

以上

（関連リリース）ダイハツ、カーボンニュートラルを見据え、京都（大山崎）工場をリファイン
<https://www.daihatsu.com/jp/news/2022/20221007-1.html>